

平成26年（2014年）4月1日発行

理事長からのメッセージ

理事長
柳澤 章

ローバル化と情報革命の今日においても、いつの時代にも、最新の理論と実践力を併せ持ったプロフェッショナルを育てる教育を理念としてきました。

みなさんが学ぼうとする工学とはどのようなものでしょうか。社会にこんなものがあつたら入々は快適になるだろう、

日本工業大学に入学されたみなさん、おめでとうございます。

工学のプロフェッショナルを志すみなさん、本学園は明治期より若き技術者を育て、彼らの夢を大きく開花させて百余年を歩んできました。日本の近代化がはじまったばかりの時代にあっても、グ

ご入学おめでとうございます

学長からのメッセージ

学長
波多野 純

君がいます。専門（工業）高校に学び、工学の奥の深さを知り、さらなる高みを目指している諸君もいます。なかには、第2志望で本学に入学し、まだすっきりしない諸君もいるかも知れません。

でも、日本工業大学は、君にとって最高の大学でありたい。一生の母校として、

「君と出会えてよかった」、その思いを大切に、一生のつきあいを始めよう。さまざまな分野の工学をしっかりと学び、充実した時間を過ごそう。

君たちのこれまでの学び、学修履歴はさまざまです。普通高校に学び、工学を幅広い視点から見つめることのできる諸

ものづくりの楽しさを
最先端の技術へ広げていく

こんな生活空間があつたらみんなで楽しく過ごせるだろう、などといった様々な思いを具体的な形に作り上げていくための手立てである、ということができるでしょう。工学を修得するにあたって、本学園は、ものづくりの現場で活躍できる技術者を育てることに力を注いできました。キャンパスを歩いてみれば、実践力を大切にしている伝統が連綿と受け継がれていることに気づかれることでしょう。学生が思い思いのものづくりを存分にできる施設や、蒸気機関車や工作機械が動態保存されている博物館などは、その例です。みなさんが子どもの頃から体験してきたであろうものづくりの楽しさを、最先端の技術へと広げていく。そんなことができるキャンパスということが可能です。

諸君には、社会に出て、ものをつくりだす能力とともに、様々な問題を解決する能力に強く期待が寄せられています。変化が激しく、地球規模でダイナミックにものごとが動いている今日にあつては、解決しなければならぬ課題が山積しています。地球環境問題も、また、日本社会が抱える問題は、世界のいたるところの国々の共通の問題にもなっています。それらを技術の力で解決を図ろうと挑戦していくのがエンジニアです。広い視野をもって、大きな夢を胸に秘めて、技術を学んでいただくことを願っています。

さて、日本工業大学が誕生したのは、日本経済が高度成長の真っ盛りであった1967年です。やがて2017年には開学50周年を迎えます。それはみなさんの在学中です。半世紀の歩みとともに祝いましょ。進歩する科学技術とともに、大学もさらに新しくなっていくと思いますので、ご期待いただきたいと思います。

君を待っていた
最高の大学を目指そう

誇れる大学でありたいと願っています。そのために、全教職員は、君の学びを、学生生活を支援します。しかし、それだけでは不十分です。君の協力、君の努力なしには、最高の大学にはなれません。

本学は、あと3年で創立50周年を迎えます。「実工学教育」プログラムは、代々の卒業生が私たち教職員と一緒に築きあげてきたものです。その成果を受け取り、さらに成長させるのが君たちです。

初年次に取り組み、普通高校生のための「工学集中コース」と専門高校生のための「工学発展コース」は、他大学にはない、一人ひとりの学修履歴を尊重したものです。工学の基礎となる数学・物理・英語を、専門の工学と結びつけて、好奇心を起点に学ぶ「融合科目」は、本学独自に開発した科目です。「何かを作ってみよう」、工学への夢を抱いて入学した君にふさわしい工房教育もあります。

大学で獲得すべきものは、工学の知と技だけではなく、その前提となる、論理を組み立て、思考を重ねる力や、コミュニケーション力も欠かせません。充実した初年次教育では、その力を育みます。英語教育も大きな改革をしました。授業の最初のころに出てくる英文の易しさに驚かないで下さい。知っている英語と使える英語は違います。使える英語を目指し、ネイティブの先生とのコミュニケーションを大切にしています。

大学院入学の皆さん。君の新鮮な感覚で、工学の未来を開拓してください。皆さんへの期待はとも大きいのです。

工学部・大学院入学の留学生の皆さん、留学生別科入学の皆さん。しっかりと学び、あなたの国や地域と日本の架け橋となってください。

輝ける未来に向けて、肩を組み、一緒に前へ進みましょう。

学生自治会中央執行委員長からのメッセージ

中央執行委員長
青木 優幸
(建築学科4年)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さん、これから始まる大学生活をどう思い描いていますか？勉強を頑張りたい、友達との沢山の思い出を作りたい、部活動・サークルを楽しみたいなど、一人ひとりが考えていることは違うことでしょう。大学生活では今までの学

充実した大学生活のため
人との繋がりを大切に

の大学生活を充実したものにするには、人との繋がりを持つことが大切なことです。大学では他学年と関わる機会が少ないので、先輩後輩の関係は貴重といえま。すし、何より友達は今を充実させてくれる宝です。これからの大学生活を、いいものになりたいと思うのなら、一度は部活動やサークル、そして学生自治会の委員会をぜひ見に来て下さい。もし、部活動にサークル、委員会に所属することになった時、そこで得ることのできる経験は必ず大学生活を彩るものになります。

最後になりますが、これから皆さんの大学生活がいよいよ始まります。辛いこと、楽しいこと、いろいろなことが待っていると。思います。ですが、最後にはそれらをまとめていい思い出だったとなる様に、微力ながらも中央執行委員会を含む学生自治会全体で、皆さんと日本工業大学を盛り上げていきたいと思います。

専門職大学院だより

中堅・中小企業の

総合的拠点形成構想の実現を目指して

研究科長・教授 小田 恭市

専門職大学院技術経営研究科は、技術系中堅・中小企業の経営者・後継者・幹部などの技術経営人材の育成を進め、平成26年度には10周年を迎えることが出来ました。これは本技術経営研究科の歴代の院生の学ぶ強い意思と大学の教職員関係者のご尽力の賜物と思えます。この10年間によって形成された技術経営教育基盤をベースに、今後の10年間を飛躍の年にすべく本技術経営研究科の中長期ビジョンを描き、実行するかは次の世代に託されています。本技術経営研究科は、本大学の実工学、モノづくりに関する教育・研究実績の持ち味を活かしつつ、我が国の技術系中堅・中小企業の発展に貢献できる技術経営人材の育成を目指してきました。今後は、技術経営人材の実践的教育効果を二層高めるために、中堅・中小企業の発展に資するような研究活動等による教員の自己研鑽とともに魅力ある教材開発が求められます。こうした技術経営に関する教育、研究の活動を通じて蓄

積される新たな知識は、中堅・中小企業の経営支援活動に役立て貢献することが出来ます。さらに、この経営支援活動の経験や成果は教育活動、研究活動へとフィードバックしていけば、本技術経営研究科に知識の好循環を生み出すことが出来ます。本技術経営研究科の中長期ビジョンでは、従来からの教育活動とともに研究活動、経営支援活動を進め、首都圏はもとより国内外における「中堅・中小企業の教育・研究・支援の総合的拠点（メッカ）」を目指す構想を描いています。この総合的拠点構想を実現するためには、学内関係者における価値観を共にした協力体制の構築とともに、中堅・中小企業、国・地方自治体等の中小企業支援機関、大学・シンクタンク等の研究機関、など学外との多様な機関や人材のネットワークを深めることが必要となります。今後、この中堅・中小企業の総合的拠点構想の実現に向けた具体的なプラン策定とアクションが待たれます。

ようこそ、日本工業大学へ

新入生の皆さんを心より歓迎します！

教務部長からのメッセージ

新入生の皆さん、これから4年間、皆さんと時間を共にできることを心から嬉しく思います。突然ですが、皆さんは一日どれくらいスマートフォンを画面を眺めていますか？最近ではスマートフォン無しでの生活は考えられないという学生さんが増えました。確かに、何でも瞬時に調べられ、英語の翻訳までしてくれる、本当に便利な道具です。



「生涯」学び続ける人に

教務部長・教授 成田 健一

このような情報機器が発達した現代は、様々な知識を記憶している意味はなく、いつでも引き出せるIT機器を使いこなす技能さえあれば十分という意見もあります。最近の学生さんが英単語を覚えるという努力をしたがらないのも、このような生活習慣の変化に一因があるのかもしれません。

ご入学おめでとうございます。機械工学科には、製品のデザインから設計、加工に至るものづくりの工程を一貫して学ぶプロダクトデザインコース、エンジンやロボットなどを深く学ぶメカニクスコース、さらに実践機械工学プログラム（Jプロ）という特色あるコースが設けられています。皆さんはこのいずれかの進路を選ぶこととなります。Jプロは、日本技術者教育認定機構から認証を受けていた本学自慢のプログラムです。ここには機械の基礎科目、設計・加工演習、インターンシップ、語学など、国際的に通用する能力を養成するための科目が用意されています。近年、ものづくりの現場はグローバル化が進み、国内に留まっていられなくなり、世界に通じる機械技術者としてリーダーシップを発揮するため、ぜひJプロを目指して勉学に励んで下さい。



世界に通じる機械技術者に

機械工学科主任・教授 村田 泰彦

入学おめでとうございます。創造システム工学科一同、歓迎致します。本学科はロボット創造コースとマイクロ・ナノ創造コースからなり、いずれも近年注目されている工学分野であることが特徴です。最初は難しくても、4年間、焦らずに着実に学びましょう。



充実した大学生活を

創造システム工学科主任・教授 吉澤 信幸

最も自由な時間と考えると思います。しかし、時間とは不思議なもので何もしなくても4年間があっという間に過ぎ去ることでしょう。大学生活を始めるにあたり、やってみたいこと、興味あることなどを列記して、4年間の予定表を作ってみましょう。目標を定めて、自ら望む人生を歩み始めましょう。加えて、クラブに入部することを勧めます。学



素晴らしいカレッジライフを！

情報工学科主任・教授 正道寺 勉

新入生の皆さん、ご入学のためには、問題解決の手法を学ぶだけでは不十分で、問題解決のプロセスを学ぶことも大切なと考えているからです。皆さんが、社会に羽ばたくときまでには、良き師、良き友を是非とも見つけてください。課外活動（自分の頭で考える能力は、課外活動によっても培われます）を通じて見つけるのも良いし、実験・実習などの授業で見つけるのも良い、様々なチャンスを活用して見つけてください。そして、素晴らしいカレッジライフを過ごしてください。



身近な空間を見つめよう

生活環境デザイン学科主任・教授 川村 清志

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。あなたはどの学科で何を学ぼうとして入学しましたか。この学科には住空間と福祉空間の二つのデザインコースがあり、授業科目や体験の実習科目を豊富に用意しています。身の回りの空間を豊かに快適にするためにはどうしたら良いか。授業で学んだ知識や技術だけでなく、デザインに正解はありません。四年後に君の答えが見つかることを！



人と環境と「ものづくり」

ものづくり環境学科主任・教授 八木田 浩史

ご入学おめでとうございます。入学にあたり、自分のまわりの環境について改めて考えてみて下さい。難しくはありません。たとえば、いま吸い込んでいる空気、これは最も身近な大気環境です。朝起きて、空気がきれいだと感じることは無いかも知れませんが、少しの汚れた空気ばかりでいいかも知れません。そんな環境の中で、小さな気づきで、空気がきれいになるように、私たち一人ひとりが、環境に貢献できることを目指していきましょう。



限界を越えてゆけ

電気電子工学科主任・教授 石川 豊

入学おめでとうございます。皆さんは、高校時代に勉強、スポーツ等色々なことをがんばってきたことと思います。しかし、本当の限界までやりきったという実感を持っている人はどれだけいるでしょうか。皆さん、それぞれ希望や不安を抱えていると思います。建築学科で取り組み領域は、工学一を教育の柱としています。その中で、本学科は、今年度の入学生から実験系の科目を全面的にリニューアルし、さらに情報系の科目も新しくして、進歩の早いこの分野での対応力の強化を図ります。教員一同、全力で君たちの学びをサポートします。安心して大学生活を満喫して下さい。



建築を楽しもう

建築学科主任・教授 武田 光史

ご入学おめでとうございます。建築を学んだ皆さん、大学で初めて建築に取り組む皆さん、それぞれ希望や不安を抱えていると思います。建築学科で取り組む領域は、工学一を教育の柱としています。その中で、本学科は、今年度の入学生から実験系の科目を全面的にリニューアルし、さらに情報系の科目も新しくして、進歩の早いこの分野での対応力の強化を図ります。教員一同、全力で君たちの学びをサポートします。安心して大学生活を満喫して下さい。



広い教養を修めよう！

共通教育系主任・教授 菊地 信一

新入生の皆さんの御入学を心より歓迎致します。共通教育系では、教養教育と基礎教育を担っています。教養教育は全学科を対象としています。専門分野を超えて広い視野から物事を捕らえる力を養い、生涯に渡って自ら学ぶという基本的な姿勢を身に付けることを目指しています。また基礎教育は各学科で工学の専門分野を学ぶための基礎学力を付けることが目標です。共有するものにしましょう！



期待を胸に能力を高めよう

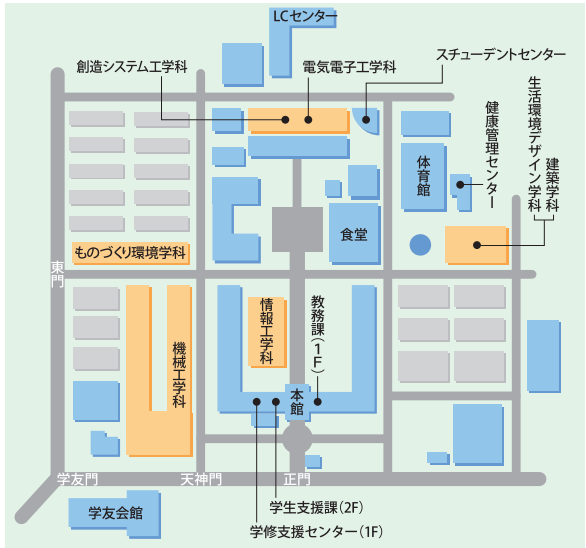
学生支援部長・教授 竹内 貞雄

新入生の皆さん入学おめでとうございます。入学式というのは人生のなかの節目にあたります。今までの友人や親元から離れることの不安もあるかも知れませんが、何にも増して期待や夢に胸を膨らませていることと思います。「明日への期待と希望」は、若い人の能力を飛躍的に向上させる原動力となります。今回のソチオリンピックでは若い日本人選手が大活躍をしました。15歳の中学生の平野選手が史上最年少で銀メダルに輝き、19歳の羽生選手は金メダルを獲得しています。

スポーツ選手がオリンピックという舞台で活躍するためにトレーニングが必要のように、皆さんが四年後に「社会」という舞台で活躍するために必要な努力が必要です。大学は高等学校までに学んだ「学力」を伸ばすだけではありません。個別の知識を統合して新しい知見に結びつける「思考力」、物事の本質を見抜く「洞察力」、事の善悪や自分自身の行動を決める「判断力」、言葉や文章を通して他人を動かす、協調できる「コミュニケーション力」などの「社会人力」を高めてはなりません。

クラブやサークル活動、友人や趣味の仲間との交流を楽しむことで、社会で活躍するために必要な様々な能力を身につけ、高めることができます。クラブ活動は最速の場です。初年度は先輩に教わり、二年目は後輩を指導して、三年目は部活の指導者として活躍することです。新人社員として社会に出て十、十五年後の中間管理職までの体験に相当します。

大学生活は社会人としての疑似体験を四年間に凝縮した場でもあります。思い切ってクラブ活動に参加し、ラフ活動に参加してみませんか？そこでは友人、先輩・後輩との交流を通じて、社会が要求している「社会人力」を身につけることができます。「学力」と「社会人力」を含めて自分自身の能力を高めることは、つらいことではありません。期待を胸に自ら積極的に取り組む姿勢が、楽しく効率良く学ぶ原動力になります。思い切って今までの自分をモデルチェンジしてみてもいいかもしれません。新しい友人の中で新しい自分自身を作り出していき、そんな大学生の第一歩を踏み出してください。



新入生対象の主なスケジュール（2014年4月初旬）	
4月1日（火）	オリエンテーション（教務部、学修支援センター、英語教育センター、女子学生対象）、学生証交付、健康診断
2日（水）	オリエンテーション（各専門学科、学生支援部）、新入生に対する調査（プレースメントテスト）
3日（木）	入学式、オリエンテーション（学生支援部、学生自治会、外国人留学生対象、編入生対象）
4日（金）	フレッシュマンキャンプ（1泊2日） ※学科によっては5日（土）から開始
7日（月）	授業開始

ここでは、入学直後の大きなスケジュールなどについてご案内します。

■まずはオリエンテーション
入学当初は各部署から各種のオリエンテーションが行われます。例えば、教務部からは履修方法や単位取得などについて、学修支援センターからは施設の使用方法、学生支援課からは学生生活全般の心構えのほか、女子学生や留学生といった対象者別の説明も行います（左下の表参照）。

疑問や不安に思うことがあっても、他人の前では質問しにくいことがあるかもしれませんが、そのような場合には、担当の先生に直接相談するなどして、一つひとつ解決していきましょう。

■授業のスタートはフレッシュマンゼミから
オリエンテーションの期間が終わると、いよいよ授業が始まります。その第一歩が、1年次春季の必修科目となっている「フレッシュマンゼミ」です。各学科を20人前後の少人数クラスに分け、大学での学び方や各学科の専門分野について、クラス担任の先生が説明を行います。

■履修申告について
大学では必修科目のほか、自分で選択する科目もあり、履修申告を行なったうえで受講します。授業開始日から10日ほどの間は試行期間となっております。各科目の内容を正式受講前に体験することが出来ます。申告までの過程で疑問に思うことがあったら、担当の先生やフレッシュマンゼミの担任の先生に相談してみてください。

■学修支援センターを利用しよう
学修支援センターでは常時、相談を受け付けています。受付時間は月曜から金曜の午前11時から午後6時までです。授業内容の質問から、大学生活や人間関係の悩みまで、専門の先生（チューター）が相談に応じます。気軽に利用してください。

■大学生活は人間関係づくりの場
大学生活においては、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるために、クラブ活動や学生自治会などに積極的に参加することをお勧めします。

■研究室や工房へも積極的に訪問しよう
研究室に正式に所属するのは3年次、学科によっては4年次になってからですが、オープンキャンパス参加時などに興味をもった研究室や工房があれば訪問してみたいかがでしょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果を残した先輩もいます。

大学生活のスタートにあたって

学生相談室

畑屋 真由美

大学時代とは、自分自身で生活をアレンジできる、楽しく、充実する時です。しかし、自由さゆえの、責任や自主性も必要です。それは「迷い」「悩み」を生むこともあります。成長の機会でもあります。心の専門家が相談に乗ります。気軽に来てみてください。

学修支援センター

川合 耕一郎

学業や学生生活のあらゆる悩みに寄り添って解決します。人間関係・サークル活動・アルバイトなど、どんな相談でも持ってきてください。学習面では、チューターが基礎から個別指導します。雑談や居場所としても多くの学生が利用しています。

私たちが、皆さんの大学生活をサポートします！

学生支援課

鈴木 良裕

学生支援課はクラブ活動や奨学金、学生証や学割の発行等、学生生活に関するあらゆることを扱っています。困ったことや分からないことがあれば、気軽にご相談ください。また、充実した学生生活のために、ぜひクラブ活動に参加してください。

教務課

日下部 恵美子

教務課では、①履修申告②休学・退学③試験や成績④在学証明書等の発行などを取り扱っています。わからないことがあります。みなさんが充実した学生生活を送れるようサポートします。

就職支援課

初見 範子

今後の学生生活は、社会人としての力を身につける大切な時間です。自分自身で切り開いていくために様々なことに挑戦をしてください。本学では、「キャリア教育」と「就職支援」の両面から、皆さんの進路を全面的にバックアップいたします。

LCセンター

梅崎 栄作

これから始まるキャンパスライフを充実させたいと願っている新入生の皆さん。そのために、メールやインターネットだけではなく、心に残る大切な本にめぐり合え、新しい発見がある「LCセンター（図書館）」と仲良くなって下さい。

スチューデントクラブ

上野 貴博

スチューデントクラブは、全学科の皆さんが利用できる「ものづくり」のスペースです。機械加工・電子工作・木工などに必要な工具・機械を揃えています。個人、団体問わず専門スタッフによる指導も受けられますので、積極的に活用してください。

健康管理センター

城戸 卓男

健康管理センターは、昨年拡張され、健康相談や応急処置、及び運動指導を行っています。毎週水曜日は、校医による健康相談も実施していますので気軽に問いください。定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行いたします。

NITクリエイト

原 隆之

NITクリエイトは、学生食堂、カフェテリア、売店（書籍・文具・飲料水の販売）の運営、アパート斡旋、資格取得支援、保険代理店、学内の清掃・警備等の業務を行っており、学生の皆様のキャンパスライフをサポートします。是非ご利用下さい。

財務課

磯 雄二

窓口では、追試等の料金収納や学費の延納手続き・相談を行っています。気軽にお越しください。又、物品の調達・支払、管理等も行っています。財務課は、教育活動が円滑に進むようサポートする「縁の下の方たち」となる業務を行っています。

総務課

大塚 竹郎

ご入学おめでとうございます。私たち総務課では、「学友会館」「施設の時間外利用」「後援会」に関わることを扱っています。その他「総務課」の名称のとおり、何でも受け付けていますので、困ったことがあったら遠慮なくご相談下さい。

英語教育センター

廣田 純子

学内留学をしてみませんか。センターに通って、英語が話せるようになった先輩が何人もいます。英会話を始めたい人、外国の文化に興味のある人、授業の復習やTOEIC、英検の勉強をしたい人、ぜひセンターの扉を開けてみてください。

